国営明石海峡公園 神戸地区
あいな里山公園

みごろの花&生きもの 散策コースマップ 2024

2月中旬～3月中旬

季節のおすすめ散策コース♪（ゆっくり歩いて1時間）
おてがるコース♪（ゆっくり歩いて30分）

藍那口
小部明石線(県道52号)
藍那歩行者口
木工棟
里山交流館
伝庫の家
里山情報館
長屋門
農村舞台
盆処の丘(展望台)
野草園
白拍子の家
うめ林
木見川
小野道
ハス田
小野水田
相談ヶ辻の家
相談ヶ辻歩行者口
木見川散策路
畑中口
かしの小道
もみじ谷
かんきつ山
畑中道
めだか池
くり林
椿坂
代ヶ谷棚田
もも林
サンデン休憩所
はんのき池
里山美林地区
さくら山

Photo Spot

切通し東側の草地(ティピの風景)

いきもの

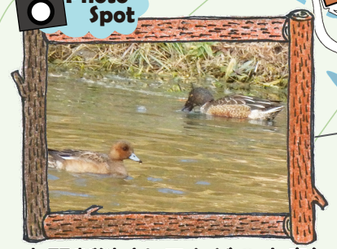
ニホンアカガエル(卵)(アカガエル科)
天敵の少ない冬に産卵するカエル。田んぼや水路の中に卵がないか探してみましょう。そして、オタマジャクシになって動く様子を観察しましょう。

オオムラサキ(タテハチョウ科)
冬は幼虫の姿で、エノキの木の下で落ち葉の裏に隠れて過ごします。背中の突起が4対あることで、ゴマダラチョウと見分けられます。

ゴマダラチョウ(タテハチョウ科)
成虫は、黒地に白のまだら模様が特徴的な蝶。オオムラサキと同じく、エノキの木の下の落ち葉の裏に隠れて過ごします。背中の突起は3対です。

オオイヌノフグリ(オオバコ科)
ヨーロッパ原産の青い花。この花が咲くと一挙に春らしさに包まれる感じがします。

Photo Spot



小野新池(カモなどの水鳥)

ジョウビタキ(ヒタキ科)
橙色の胸に、灰色の帽子が特徴的。平地や低山の明るい林で暮らす、もっとも身近な冬鳥の一種。

春の味覚

ヨモギ(キク科)
早春から晩秋まで年中みられる野草。よもぎ団子にして食べたり、薬として飲んだり、お灸の材料にもつかわれます。

ツクシ(スギナ)(トクサ科)
ツクシの正体は、スギナなんです。胞子で増える、シダ植物の仲間です。ほろ苦いその味は春の味覚として食べる楽しみもあります。

フキ(新芽)(キク科)
いわゆる「フキノトウ」。早春の風物詩で、フキ味噌や天ぷらにして食べられます。

ヒメオドリコソウ(シソ科)
上のホトケノザとよく似ていて間違えられます。こちらはハート型の葉がたくさん重なってついています。よ～く観察してみてください♪

ヤブツバキ(ツバキ科)
ツバキには様々な種類がありますが、自生のツバキといえばヤブツバキのこと。メジロが蜜を吸いにやってくることもあります。

ウメ(バラ科)
うめ林にはさまざまな品種のウメが植えられています。
紅花、白花、八重咲き、一重咲き。お気に入りの木を選んでみてください。

タネツケバナ(アブラナ科)
ナズナによく似ていますが、茎からのびる果実の部分の形が違います。晴れた日、はちはちと音を立てて、たねを飛ばします。

春の七草

田畑のあぜなどで見られます

ナズナ(アブラナ科)
春の七草の一つ。茎からのびる果実の部分がかわいいハート型をしています。その形が三味線のバチにみえることから「ペンペン草」とも呼ばれます。

コハコベ(ナデシコ科)
春の七草のひとつ。畑雑草の代表的な存在。小さな白い花を探してみよう。

ホトケノザ(シソ科)
春の七草とよく間違えられますが、現在のホトケノザはこちら。葉の形が「仏の座」に見えることからこの名がつきました。